

AcanoおよびCisco Meeting Server(CMS)のIPルーティングルール

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[Acano/CMSサーバにはどのIPルーティングルールが適用されますか。](#)

[すべてのIPルーティングテーブルを（インターフェイスごとに）表示する方法](#)

[デフォルトインターフェイスを確認して変更する方法](#)

[確認](#)

[トラブルシュート](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、AcanoまたはCisco Meeting Server(CMS)サーバのIPルーティングルールについて説明します。AcanoサーバまたはCMSサーバには、それぞれ独自のデフォルトゲートウェイを持つ複数のインターフェイスを設定できます。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- CMSコンポーネント： WebBridge(WB)NAT(TURN)サーバのリレーを使用したトラバーサル CallBridge(CB)
- 基本的な IP ルーティング

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、バージョン2.3.xのCisco Meeting Server(CMS)に基づくものです。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

背景説明

ここでの唯一の制限は、4ポートスイッチのさまざまなインターフェイスが異なるサブネットに存在する必要があることです。そうしないと、セットアップでルーティングの問題が発生する可能性があります。例外として、ADMINインターフェイスを持つハードウェアXサーバは、[CMSインストールガイドに記載されているとおり、他のインターフェイス\(A/B/C/D\)と同じサブネットにこのADMINインターフェイスを持つことが許可されます](#)。

注：Cisco Meeting Serverの2つのインターフェイスを同じサブネットに配置することはできません。唯一の例外は、物理Acano XシリーズサーバのADMINインターフェイスは、他のインターフェイス（AからD）と同じサブネット上に配置でき、一般的な導入である可能性があることです。

TURNサーバコンポーネントでバインディング要求を受信する際に、ルーティングロジックを知る必要がある状況に遭遇することがあります。たとえば、応答が送信されるインターフェイスを確認できます。

Acano/CMSサーバにはどのIPルーティングルールが適用されますか。

IPルーティングロジックは、接続がUser Datagram Protocol (UDP ; ユーザデータグラムプロトコル) またはTransmission Control Protocol (TCP ; 伝送制御プロトコル) のどちらであるかによって異なります。

TCPの場合、新しい接続か着信への応答かにかかわらず、図のフローチャートを使用して、どのIPルーティングロジックがケースに適用されるかを確認できます。

着信TCP接続応答

Acano/CMSサーバは、要求を受信したインターフェイス自体の着信TCP接続に対して応答します（すでにTCP接続が存在するため）。

アウトバウンドTCP接続またはアウトバウンドUDPパケット

どちらのシナリオでも、これらのIPルーティングルールはこのフローチャートに従って処理されます（また、着信TCP接続応答の最初のステップも同様です）。

注：このロジックは、新しい送信UDPパケットの作成や、受信したパケットに回答して送信されたパケットに適用されます。

